

回答記入日(開示情報の時点)	
受託またはサービス提供（予定）業務名	
回答記入者【部署・役職・氏名記載欄】	

本調査票は、総務省が公表した「クラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示指針」における「ASP・SaaSの安全・信頼性に係る情報開示指針(第3版)」から、内容を抜粋・追加して作成しています。

調査項目			調査内容 (※印の記載は回答に際しての留意・補足事項であるため、併せて参照すること。)	回答選択肢または記入事項 (選択肢については、当てはまるものの数字を選択すること。)	回答入力欄 クラウドサービス事業者(SaaS提供者)のホームページ等に回答が記載されている場合は、URLのご提示による回答も可とします。	回答記入例
1-1-1	事業所等の概要	事業者名	クラウドサービス事業者(SaaS提供者)の正式名称(商号)	正式名称(商号)を記入		仙台行政提供サービス
1-2-1		事業所等の所在地	本社の所在地 ※本社でSaaSに関する作業を行っていない場合であっても要回答	本社の住所を記入 回答例：「 <input type="text"/> 県 <input type="text"/> 市 <input type="text"/> 町123」		宮城県仙台市青葉区二日町12番26号
1-2-2			作業場所（クラウドサービスを提供するサーバー空間に対してリモートでメンテナンス等を行う場所を含んだ、情報のシステム処理(入力、編集、分析、出力等)を行う場所） ※作業場所が複数の場合は全て記入して下さい ※データセンターについては本回答の対象外	作業場所の住所をすべて記入 回答例：作業場所その1「 <input type="text"/> 県 <input type="text"/> 市 <input type="text"/> 町123」 作業場所その2「 <input type="text"/> 県 <input type="text"/> 区 <input type="text"/> 町456」		宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7番1号(メンテナンス作業場所) 宮城県仙台市青葉区二日町1番23号(クラウドサービス使用場所)
2-1-1	サーバーの設置場所	サーバーの設置場所	SaaSを提供するための、サーバーやストレージ等の機器が設置してある場所	1：事業者が所管する場所(本社サーバー室内、支社のデータセンター等) 2：事業者が約款等で契約する、クラウドサービス事業者(IaaS提供者またはPaaS提供者)により管理している場所 3：その他		1
2-1-2				上記の回答が1の場合は、場所を記入 回答例：本社サーバールーム(<input type="text"/> 県 <input type="text"/> 市 <input type="text"/> 町123) ※セキュリティ理由により住所開示不可の場合はその旨を記載すること 上記の回答が2の場合は、契約しているクラウドサービス事業者名(IaaS提供者名またはPaaS提供者名)と、クラウドサービス名をすべて記入 回答例：アマゾン ウェブ サービス ジャパン社のAWS マイクロソフト社のAzure 上記の回答が3の場合は、回答を記入 回答例：A社のハウジングサービスを利用、サーバーは自社サーバーを使用		宮城県仙台市青葉区二日町12番26号
2-1-3			サーバーは、日本国内法が適用される場所に立地しているか ※データをバックアップする場所も、日本国内法が適用される場所に立地していること	1：日本国内法が適用される場所に立地して、かつ本共済組合の個人情報の電子データが日本国内に保存される。 2：日本国内法が適用される場所に立地しているが、本共済組合の個人情報の電子データが日本以外に転送される可能性がある。 3：日本国内法が適用されない場所に立地している		1

調査項目			調査内容 (※印の記載は回答に際しての留意・補足事項であるため、併せて参照すること。)	回答選択肢または記入事項 (選択肢については、当てはまるものの数字を選択すること。)	回答入力欄 クラウドサービス事業者 (SaaS提供者) のホームページ等に回答が記載されている場合は、URLのご提示による回答も可とします。	回答記入例
2-1-4				上記質問の回答が2の場合、転送される可能性のある国を記入 回答例：アメリカ		
2-1-5				上記2-1-3質問の回答が3の場合、データセンターの立地国を記入		
2-1-6				上記2-1-3質問の回答が2又は3の場合、 1：当該個人情報の本人から以下の事項について同意を取得する予定がある（サービス利用時に同意を得る仕様になっている） 2：当該個人情報の本人から以下の事項について、同意を取得する予定はない（サービス利用時に同意を得る仕様になっていない） ・移転先の所在国の名称 ・当該外国における個人情報の保護に関する制度 ・移転先が講ずる個人情報の保護のための措置		
2-1-7				上記2-1-6質問の回答が2の場合、理由等を記載 回答例 1：日本以外の国へデータが保存されるが、保存される内容は重要性分類Ⅲのみ 回答例 2：日本以外の国へデータが保存されるが、利用者専用の暗号鍵を利用者が管理する仕様となっている		
3-1-1	コンプライアンス	情報セキュリティに関する組織体制	情報セキュリティに関する専任責任者（又は専任組織）を配置しているか	1：配置している 2：配置していない		1
3-1-2				上記の回答が2の場合は、その理由を記入		
3-2-1		個人情報の取扱規程	個人情報の取扱いに関する内部規定を定めているか	1：定めている 2：定めていない 上記の回答が2の場合は、その理由を記入		1
3-2-2						
3-3-1		法律について	当該クラウドサービス利用にかかる法律関係は、国内法が適用されるか	1：適用される 2：適用されない 上記の回答が2の場合は、その理由を記入		1
3-3-2						
3-4-1		管轄裁判所について	本共済組合との契約について紛争が生じた場合には、国内裁判所を管轄裁判所に指定しているか	1：指定している 2：指定していない		1

調査項目			調査内容 (※印の記載は回答に際しての留意・補足事項であるため、併せて参照すること。)	回答選択肢または記入事項 (選択肢については、当てはまるものの数字を選択すること。)	回答入力欄 クラウドサービス事業者(SaaS提供者)のホームページ等に回答が記載されている場合は、URLのご提示による回答も可とします。	回答記入例
3-4-2				上記の回答が2の場合は管轄裁判所を記入		
3-5-1		外国法適用のリスクについて	貴社で雇用している者又は労働者派遣法に基づき受け入れている者、その他契約により当該SaaS事業に関与する者（再委託先等を含む）については、その者が属する国籍によっては社内規則等よりも優先する当該国の法律により情報提供義務が課されている場合があることを理解しているか	1：理解している(理解した) ※回答欄には、「1」の回答をお願いします。		1
4-1-1	個人情報の取扱い	法理解	契約形態によらず、発注者のために個人情報のシステム処理を行う場合は、仮にクラウドサービス事業者(SaaS提供者)が独自に定める定型約款で「自社が個人情報取扱事業者ではない」と規定していても、個人情報保護法上は個人データの取扱いの委託に該当し、発注者による安全管理措置の対象になる可能性があることを理解しているか。 (補足) 個人情報保護法の観点における「委託」の定義 以下のどちらかに該当する場合は、委託になります。 (1) 当該クラウドサービス事業者(SaaS提供者)が、契約条項等によって、サーバに保存された個人データを取り扱わない旨が定められていない。 (2) 当該クラウドサービス事業者(SaaS提供者)が、（サーバに保存された個人データに対し）適切にアクセス制御を行っていない ※個人情報保護法ガイドラインQ&A7-53抜粋	1：理解している(理解した) ※回答欄には、「1」の回答をお願いします。		1
4-2-1		体制	個人情報の保護に関する責任者を定めているか。	1：個人情報保護に関する責任者を定めている 2：個人情報保護に関する責任者を定めていない		1
4-2-2				上記の回答が1の場合は、個人情報保護責任者の氏名・役職を記入 ※回答例： 氏名：仙台 一郎 役職：課長		氏名：仙台 一郎 役職：課長
4-2-3				上記の回答が2の場合は、その理由を記入		
5-1-1	守秘義務	守秘義務契約	作業従事者(再委託先を含む)とクラウドサービス事業者(SaaS提供者)との間に、本共済組合が預けた個人情報等について、守秘義務を課す契約又は条項があるか	1：有る 2：無い		1
5-1-2				上記の回答が2の場合は、その理由を記入		
5-2-1			クラウドサービス事業者(SaaS提供者)の守秘義務違反に対するペナルティ条項があるか	1：有る 2：無い		1

調査項目			調査内容 (※印の記載は回答に際しての留意・補足事項であるため、併せて参照すること。)	回答選択肢または記入事項 (選択肢については、当てはまるものの数字を選択すること。)	回答入力欄 クラウドサービス事業者(SaaS提供者)のホームページ等に回答が記載されている場合は、URLのご提示による回答可とします。	回答記入例
5-2-2				上記の回答が2の場合は、その理由を記入		
6-1-1	従業員教育等	研修の実施状況	クラウドサービス事業者の従業員(再委託先等)に対して、定期的にセキュリティに関する研修を実施しているか	1：1年に1回以上の頻度で、実施している 2：1年に1回未満の頻度で、不定期に実施している 3：実施していない		1
6-1-2				上記の回答が2または3の場合、その理由を記入		
6-2-1		従業員に対する守秘義務等の状況	従業員の守秘義務履行状況を定期的にモニタリングしているか ※守秘義務の履行状況とは、例えば利用者が預けた情報を第三者へ口外しない、定められた区画外に(紙に限らず)資料等を持ち出さない、SNS等に記載しないこと等を徹底していることを指す。	1：定期的に履行状況を確認している 2：不定期に履行状況を確認している 3：履行状況は確認していない 4：その他		2
6-2-2				上記の回答が1または2の場合、いつどのような方法で履行状況を確認しているかを記入 上記の回答が3または4の場合、その理由を記入		プロジェクトの参画時期によるため、不定期でのモニタリングをおこなうが、1年1回以上は実施している
7-1-1	委託契約	委託先に対する管理状況	クラウドサービス提供に係る委託先（再委託先を含む）がある場合、委託先等における個人情報の取扱が適切であることを確認しているか	1：確認している 2：確認していない 3：委託先（再委託先）がないので回答対象外		1
7-1-2				上記の回答が1の場合、確認方法を記入 回答例：「年に1回立ち入りによる定期監査を実施している」、「書面のみではあるが年に1回情報の取扱い状況について確認している」等 上記の回答が2の場合、確認していない理由を記入		年に1回立ち入りによる立ち入りによる定期監査を実施している
7-2-1		委託先との守秘義務	本共済組合が貸与する(または本共済組合との契約により発生する)個人情報等について、委託先（再委託先・約款等に基づきAPI連携を行う事業者含む）に守秘義務が課せられることを契約上も確認がなされているか ※	1：確認している 2：確認していない 3：回答対象外 クラウドサービスを利用する委託先（再委託を含む）は存在しない		1
7-2-2				上記の回答が2の場合、理由を記入		
7-3-1		委託情報の開示 1	委託先（再委託先・約款等に基づきAPI連携を行う事業者含む）における、個人情報保護にかかる取組状況に関する情報を、本共済組合が求める場合には提供しなければならないことを理解しているか	1：確認している 2：確認していない 3：回答対象外 クラウドサービスを利用する委託先（再委託を含む）は存在しない		1

調査項目			調査内容 (※印の記載は回答に際しての留意・補足事項であるため、併せて参照すること。)	回答選択肢または記入事項 (選択肢については、当てはまるものの数字を選択すること。)	回答入力欄 クラウドサービス事業者(SaaS提供者)のホームページ等に回答が記載されている場合は、URLのご提示による回答可とします。	回答記入例
7-3-2				上記の回答が2の場合、理由を記入		
7-4-1		委託情報の開示2	委託先（再委託先・約款等に基づきAPI連携を行う事業者含む）における個人情報保護にかかる取組状況に関する情報を本共済組合が求める場合には、提供を阻む事由があるか	1：提供を拒む事由は無い。 2：提供を拒む事由は有る。 3：回答対象外 クラウドサービスを利用する委託先（再委託を含む）は存在しない		1
7-4-2				上記の回答が2の場合、その理由を記入 ※回答例：委託先等が本共済組合様式の調査票作成を拒否、本共済組合との間でNDA(秘密保持契約)が必要なため		
8	サービスの基本特性	サービス名称	SaaSのサービス名称について	省略せずに名称を記入		仙台行政SaaSサービス
9-1-1	契約終了	データの消去	契約終了時には、本共済組合が貸与した個人情報等は、国際標準規格（又はそれに準拠する規格）に基づく方式により、適切に消去しなければならないことを理解しているか	1：理解している 2：理解していない		1
9-1-2				上記の回答が2の場合、その理由を記入 ※回答例：委託先等が本共済組合様式の調査票作成を拒否、本共済組合との間でNDA(秘密保持契約)が必要なため		
9-2-1		データ消去の規格	契約終了時、又はサーバ廃棄時において、自社又はIaaS/PaaS事業者で実施しているデータ消去が、NIST SP8800-88Rev.1purge、destroyのどちらかを満たす消去規格か	1：契約終了時において、自社がNIST SP8800-88Rev.1purge、destroyのどちらかを満たすデータ消去を実施する 2：契約終了時において、IaaS/PaaS事業者がNIST SP8800-88Rev.1purge、destroyのどちらかを満たすデータ消去を実施する 3：サーバ廃棄時において、自社がNIST SP8800-88Rev.1purge、destroyのどちらかを満たすデータ消去を実施する 4：サーバ廃棄時において、IaaS/PaaS事業者がNIST SP8800-88Rev.1purge、destroyのどちらかを満たすデータ消去を実施する 5：その他		1
9-3-1				上記回答が5の場合、いつ誰がどのような消去を実施するのか詳細を記入		
9-4-1		データの消去又は廃棄したことの証明	データ消去又は廃棄を行った場合、その適切性を証する書面の提出が必要であることを理解しているか	1：理解している(理解した) ※回答欄には、「1」の回答をお願いします。		1

調査項目			調査内容 (※印の記載は回答に際しての留意・補足事項であるため、併せて参照すること。)	回答選択肢または記入事項 (選択肢については、当てはまるものの数字を選択すること。)	回答入力欄 クラウドサービス事業者(SaaS提供者)のホームページ等に回答が記載されている場合は、URLのご提示による回答可とします。	回答記入例
10-1-1	サービス品質	認証取得	ISMAP、ISMAP-LIU、ISO/IEC 27017又は27018を取得しているか ※クラウドサービス事業者(IaaS提供者またはPaaS提供者)が取得しているかの質問ではない ※様式1号の調査票にも回答している場合は、同様の回答こちらの調査票にも記載してください。	1：ISMAPを取得している 2：ISMAP-LIUを取得している 3：ISO/IEC27017、又は27018を取得している 4：いずれも取得していない ※複数回答可		1と3
10-2-1		バックアップ対策	データのバックアップは適切な頻度で実施されているか	1：毎日バックアップしている 2：定期的にバックアップしている 3：バックアップしていない		1
10-2-2				上記の回答が3の場合、理由を記入 クラウドサービス事業者以外がバックアップしている場合は、バックアップしている者と頻度(毎日、1か月ごと等)を記入		
10-2-3				1：2世代以上のデータを保存している 2：直近の世代のみ保存している 3：世代管理は行っていない		1
10-2-4				上記の回答が3の場合、理由を記入		
10-2-5			バックアップデータは、適切な空間で保管されているか	1：クラウドサービス事業者(SaaS提供者)が利用するデータセンター敷地外の適切な空間で保存している 2：同じデータセンター敷地内であるが、耐火金庫等の空間に記録媒体を保存している 3：SaaSと同じデジタル空間（物理・仮想）内に保存されている 4：その他		1
10-2-6				上記の回答が3の場合、ランサムウェア等の被害発生リスクに備えるため、上記回答の1もしくは2に変更することは可能か？ 不可能な場合は理由を記入 上記の回答が4の場合、回答を記入		
10-3-1		SLA	クラウドサービスに係るSLAが利用規約や契約書に明示されているか	1：SLAの内容が明示されている 2：SLAに関する記述は無い		1
11-1-1	アプリケーション／通信	他のSaaS等との情報連携の有無	本共済組合、または本共済組合の委託先から預かっている個人情報について、他のASPやSaaSとの間でAPIなどを用いた情報連携が行われているか	1：連携が行われている 2：連携が行われていない		1
11-1-2				上記の回答が1の場合、連携がおこなわれる他のASPやSaaSのサービス名、または事業者名を記入		東北行政クラウドサービス

調査項目			調査内容 (※印の記載は回答に際しての留意・補足事項であるため、併せて参照すること。)	回答選択肢または記入事項 (選択肢については、当てはまるものの数字を選択すること。)	回答入力欄 クラウドサービス事業者(SaaS提供者)のホームページ等に回答が記載されている場合は、URLのご提示による回答も可とします。	回答記入例
11-1-3			使用予定のクラウドサービス(SaaS)が、他のASPやSaaSとの間で情報連携が行われる場合、個人情報保護法が求める安全管理措置が、情報連携先に及び可能性があることを理解しているか	1：理解している(理解した) ※回答欄には、「1」の回答をお願いします。		1
11-2-1		ウイルス対策など	WAF、IDS、IPS、サンドボックス等の不正アクセスに対する防護装置を導入しているほか、各種ウイルス対策を適切に実施しているか	1：適切に導入・実施している 2：導入・実施していない		1
11-2-2				上記質問の回答が1の場合、どのような防護装置を導入しているかを記入 上記質問の回答が2の場合、理由を記入		Firewallの他、WAF、IDS、IPSを社内DMZネットワーク内に導入済み
11-3-1			既知の脆弱性があるソフトウェアに対して修正パッチを適用するか、その使用を停止するなど、適切な措置を施しているか	1：適切な措置を施している 2：一部は措置ができていない 3：全く措置していない		1
11-3-2				上記質問の回答が2または3の場合、措置できていない理由を記入		
11-4-1		暗号化対策	通信経路(*)を適切に暗号化しているか (*)SSL、TLSによるend to end、VPN装置等による拠点間のいずれも可	1：通信経路の暗号化を行っている 2：通信経路の暗号化措置は行っていない		1
11-4-2				上記質問の回答が2の場合、理由を記入		
11-4-3			データを保存するサイバー空間(**)(バックアップ含む)においても、CRYPTREC「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト」に記載の電子政府推奨暗号リスト(***)内の暗号化方式を利用しているか (**)DBソフト固有の暗号化機能も可 (***)電子政府推奨暗号リストの参照URL https://www.cryptrec.go.jp/list/cryptrec-ls-0001-2022.pdf	1：電子政府推奨暗号リスト内の暗号化方式を利用して、暗号化措置を行っている 2：暗号化措置は行っていない または電子政府推奨暗号リスト内の暗号化方式を利用していない。		1

調査項目			調査内容 (※印の記載は回答に際しての留意・補足事項であるため、併せて参照すること。)	回答選択肢または記入事項 (選択肢については、当てはまるものの数字を選択すること。)	回答入力欄 クラウドサービス事業者(SaaS提供者)のホームページ等に回答が記載されている場合は、URLのご提示による回答可とします。	回答記入例
11-4-4				上記質問の回答が1の場合、電子政府推奨暗号リストのうち、どの暗号技術を使用しているかを記入 ※回答例：AES DSA 上記質問の回答が2の場合、理由を記入		AES
11-5-1		時刻管理	全てのシステムについて、適切に時刻同期（日本標準時）が図られているか	1：図っている 2：図っていない		1
11-5-2				上記質問の回答が2の場合、理由を記入		
11-6-1		記録（ログ）	SaaS利用者（本共済組合、委託先または再委託先）が利用した状況の記録を適切に記録しているか	1：適切に記録している 2：記録していない 上記質問の回答が2の場合、理由を記入		1
11-6-2						
11-6-3			SaaS利用者（本共済組合、委託先または再委託先）の利用記録を、本共済組合の求めに応じて本共済組合に提供することが出来るか *安全管理措置の観点で、適正ユーザーのみがアクセスしているか確認を求める場合があります。	1：提供できる 2：一定の条件のもとで提供できる 3：条件の如何を問わず提供はできない 上記質問の回答が2または3の場合、一定の条件または提供出来ない理由を記入		1
11-6-4						
11-6-5			ログの改ざん防止措置が適切に施されているか	1：改ざん防止措置を適切に実施している 2：改ざん防止措置は行っていない 上記質問の回答が2の場合、理由を記入		1
11-6-6						
11-7-1		複数要素認証	SaaS提供者（ITベンダー等の管理者）及びSaaS利用者（本共済組合、委託先または再委託先）が当該SaaSの管理画面にログインを行う際の認証方法は、複数要素認証(*)、又は2段階認証(*)を提供しているか *知識/所持/生体の3要素のうち、2つ以上を使用するもの。 *ワンタイムパスワードは複数要素認証に含める *ログインする際に、ID/PWによる認証の後、追加で別手段の認証を行うもの。	1：提供している 2：提供していない		1

調査項目			調査内容 (※印の記載は回答に際しての留意・補足事項であるため、併せて参照すること。)	回答選択肢または記入事項 (選択肢については、当てはまるものの数字を選択すること。)	回答入力欄 クラウドサービス事業者 (SaaS提供者) のホームページ等に回答が記載されている場合は、URLのご提示による回答可とします。	回答記入例
11-7-2				上記質問の回答が1の場合、複数要素認証の詳細、又は2段階認証等の詳細を記入 回答例：ＩＤとパスワードの知識認証、通信経路上のネットワーク機器にてIPアドレス制限をおこなうことでの所持認証、静脈認証による生体認証 上記11-7-1質問の回答が2の場合、不正アクセスに対する防護措置を記入 特に何も防護措置を実施していない場合は、その理由を記入 回答例：複数要素認証及び2段階認証は採用していないが、認証を一定回数（3回）失敗した場合に、アカウントをロックする仕様になっている。		ＩＤとパスワードの知識認証と、クライアント証明書確認による所持認証を実施している
11-8-1		ＩＤ/PWの管理	クラウドサービス事業者 (SaaS提供者) の管理者と開発者それぞれに、特別な権限を持つＩＤ/PW(いわゆる特権ＩＤ)を付与することがある場合、それらの運用ならびに管理に関する内部規定が整備されているか	1：適切に整備されている 2：整備されていない		1
11-8-2				上記の回答が2の場合、理由を記入		
11-9-1		設定不備防止対策 （ＩＤとアクセス管理）	「ＩＤとアクセス管理」の設定不備による、不正アクセス等による個人情報漏洩事故を未然に防ぐため、対策をおこなっているか ※SaaS利用者（本共済組合、委託先または再委託先）・クラウドサービス事業者 (SaaS提供者) の管理者と開発者それぞれのＩＤに対して、適切なアクセス権付与、に関する不備対策の有無を問う。	1：対策をおこなっている（または対策をおこなう予定） 2：対策をおこなっていない		1
11-9-2				上記の回答が1の場合、対策内容を記入（予定の場合は時期も記入） 上記の回答が2の場合、理由を記入		設定項目と設定値に問題ないことを発注者が確認済みである。 また四半期に1回おこなうメンテナンス作業にて、設定確認作業をおこなっている。 退職等により、不要なＩＤが発生した場合は、即時IDの消去をおこなっている。
11-10-1		設定不備防止対策 （ロギングと監視）	「ロギングと監視(モニタリング)」の設定不備による、障害発生検知遅延を未然に防ぐため、対策をおこなっているか ※ロギングを有効化する設定、ログの保存期間の適切な設定、障害発生時に関係者に即時に通知するための監視の設定、などの不備対策の有無を問う。	1：対策をおこなっている（または対策をおこなう予定） 2：対策をおこなっていない		1
11-10-2				上記の回答が1の場合、対策内容を記入（予定の場合は時期も記入） 上記の回答が2の場合、理由を記入		データセンター内にあるクラウドサービスを提供するためのサーバは、統合監視システムにてログを監視している。 ログの設定に不備があった場合は、統合監視システムによりエラー出力されるので、作業者が設定不備に気付くことができる。

調査項目			調査内容 (※印の記載は回答に際しての留意・補足事項であるため、併せて参照すること。)	回答選択肢または記入事項 (選択肢については、当てはまるものの数字を選択すること。)	回答入力欄 クラウドサービス事業者(SaaS提供者)のホームページ等に回答が記載されている場合は、URLのご提示による回答可とします。	回答記入例
11-11-1		設定不備防止対策 (情報公開の範囲設定)	「情報公開の範囲設定」の設定不備による、個人情報漏洩事故を未然に防ぐため、対策をおこなっているか (補足) ※総務省公表の情報開示指針にある「オブジェクトストレージの設定不備防止対策」に対応する箇所。 ※クラウドサービス事業者(SaaS提供者)にて取り扱う情報の公開範囲の設定、に関する不備対策の有無を問う。(クラウドサービス事業者(IaaS提供者またはPaaS提供者)の対応範囲は除く)	1：対策をおこなっている(または対策をおこなう予定) 2：対策をおこなっていない		1
11-11-2				上記の回答が1の場合、対策内容を記入(予定の場合は時期も記入) 上記の回答が2の場合、理由を記入		クラウドサービスを開始する前に、IDの権限によって、情報公開のアクセス権に問題がないことをテストにて確認しており、テスト結果は発注者も確認済みである。
12	その他	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策等	特筆すべきセキュリティ対策、または補足事項等がある場合、自由に記入		CIEM(Cloud Infrastructure Entitlement Management)を採用しており、クラウド上で長期間使用していないアカウントや権限を検出できる仕組みを利用している。